



かみおおぶち こすけ すず
上大淵小助の清水

鮭川村大字川口



〔管理者〕 八鍬健助 〔保全団体〕 八鍬健助ほか

ポイント

鮭川村役場から約500m南下すると、右手に上大淵という40戸程の集落がある。その外れに湧水があり、江戸時代から利用されてきた。地区の方々以外にはほとんど知られていないが、米作りや約50年前までは米酢の醸造にも用いられており、地元の方々の生活に密着した貴重な存在であったのであろう。時代の流れと共に歩んできた湧水である。現在も夏場には野菜や果物を冷やしたり、漬物の保存のために使用されている。



アクセス (北緯38.786472°、東経140.217750°)

鮭川村役場からすぐの国道458号線を南下すると、約1kmで上大淵の集落に着く。右手に集落に入る道があるので、さらに300mほど道なりに進み、集落が途切れる十字路を左折すると、右手に「上大淵小助の清水」の看板がある。湧水前の道路の交通量は少ないが、駐車場はなく、駐車の際は十分に注意が必要である。

